

「事業名：営農再開地域における先進的なオーガニック作物生産技術の開発」 平成30年度補助事業の実績・成果

東京農工大学 連携市町村：富岡町

連携市町村との協定締結日：平成31年1月17日 現地拠点：双葉郡富岡町王塚480 王塚営農組合

事業のポイント

福島県富岡町、浜通りの営農再開地域において、IoT、AI等を活用した先進的でスマートなオーガニック作物生産技術を開発、農業復興を目指し、現場生産者ニーズに合致した省力作物生産技術を開発、オーガニック農産物生産の産地形成を推進、農業の振興、有機農業の再開を支援し、農業収入の安定化と所得の拡大、技術開発・普及等人材育成

今年度の活動実績

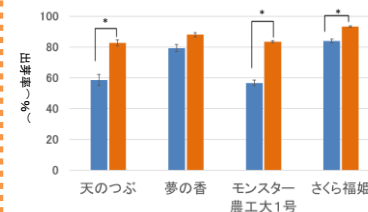
- ・研究活動計画・現地検討会を開催(8月21-22日、いわき産業創造館)。学生、教員含む大学、富岡町役場、営農再開農家、関係機関、民間企業が多数参加。現地研究拠点を視察。
- ・IoTによる遠隔地からの育苗灌水、水田水管理、畑点滴灌漑システムの導入(富岡町現地拠点、9-12月)
- ・水稲の有機栽培試験圃場の生育、収量調査(富岡町現地拠点、8-11月)
- ・水稲のオーガニック育苗のための事前乾燥+温湯消毒技術、バイオ肥料施用技術の導入(8-1月)
- ・農地客土の肥沃化をめざした緑肥作物の栽培、ドローンによる成長モニタリング(富岡町現地拠点10-1月)
- ・福島県酒造メーカー、組合の酒米、オーガニック日本酒調査(郡山、会津、二本松など福島県内、8-12月)
- ・大学における富岡町営農再開農家によるセミナー(11月)、富岡小中学校における本学教員の講演(12月)
- ・研究活動報告会を開催(1月12-13日、いわき産業創造館)。学生、教員含む大学、富岡町役場、営農再開農家、関係機関、民間企業が多数参加。現地研究拠点、有機栽培農家、日本醸造メーカーを視察



今年度の成果

- ・営農再開地域の通い農業支援のため、IoTによる遠隔地からの水稲育苗灌水、水田水門自動開閉装置を設置し、オーガニック栽培における雑草抑制のための深水管理モニタリングシステムを構築した。
- ・農工大で本年度品種出願した水稲品種「さくら福姫」、「モンスター農工大1号」、福島県育成の「天のつぶ」、酒米の「夢の香」は高温耐性が高く、有機育苗のための事前乾燥+温湯消毒法が適用できることを明らかにした。現地拠点に、種子乾燥・温湯消毒装置を設置した。
- ・福島県内の酒米、日本酒醸造について、酒米の生産から醸造、マーケティング、輸出までの調査を酒造メーカー、酒造組合などで行い、現状と課題を明らかにした。
- ・学生が積極的に研究活動、セミナーなどに参加し、富岡町農家、他大学等との交流を行った。

67°Cで温湯消毒した際の出芽率



事前乾燥により出芽率が向上